



宇多津町「ゼロカーボンシティ」宣言

地球温暖化による気候変動は、異常気象による災害の増加や生態系の変化、健康リスクの増加など、地球規模で大きな影響を及ぼしています。今後も地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出が続けば、豪雨災害等の更なる頻発化・激甚化が予測され、我々の身近な生活環境に様々な影響をもたらす「気候危機」とも言うべき極めて深刻な状況となっています。

この喫緊の課題を解決するため、2015年に「産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」とするパリ協定が合意され、国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では「気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

本町においても、将来像として掲げている「元気創造！これからも自立する宇多津」の実現に向けて、豊かな自然の中で安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組み、町民・事業者・行政等の多様な主体が連携して地球温暖化対策を推進し、2050年までに本町の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」にチャレンジすることをここに宣言します。

令和3年9月10日

宇多津町長 谷川 俊博